

幕府政治の推移と他主要御家人排斥事件

幕府政治の推移(1)

青字は将軍の就任順、赤字は執権の就任順

天皇	院	将軍	執権	推移	幕政	他氏排斥事件
1198 後鳥羽	1198	① 源頼朝			13人合議制	梶原景時、敗死 (1200)
		1202 源頼家				比企能員、謀殺 (1203)
1210 順徳	後鳥羽	③ 源実朝	① 北条時政	執権政治の成立		頼家幽閉、翌年殺害 (1203)
1221 仲恭	後高倉	藤原頼朝 2歳で鎌倉殿 4代目に	② 北条義時 (政所・侍所) 別当兼任		承久の乱 (1221)	梶原景時、敗死 (1205)
1221 後堀河	1223				六波羅探題 (1221)	和田義盛、敗死 (1213)
		1226 藤原頼経 (摂家将軍)*	③ 北条泰時	執権政治の確立	連署 (1225)	和議 (1225)
1232 後堀河	1234	9歳で将軍就任			評定衆 (1225)	眞永式目 (1232)
1242 後嵯峨	1246	⑤ 藤原頼嗣 (摂家将軍)*	④ 北条経時	得宗専制の進展	引付衆 (1249)	宝治合戦 (1247) (三浦泰村一族滅亡)
1259 後深草	後嵯峨	11歳で将軍就任	⑥ 北条長時 (赤橋)		宗尊親王 (皇族将軍)*	
	龜山	1266 北条政村	⑦ 北条時宗			
1274 後宇多	龜山	⑦ 惟康親王 (皇族将軍)*		得宗専制の確立	文永の役 (1274)	霜月騒動 (1285) (安達泰盛一族滅亡)
1287 伏見	後深草	1289 ⑧ 久明親王 (皇族将軍)*	⑧ 北条貞時		長門探題 (1276)	鎮西探題 (1293)
1298 後伏見	伏見	14歳で将軍就任			永仁の徳政令 (1297)	
1301 後二条	1301		⑩ 北条師時			

* 藤原将軍ともいう。

* 親王将軍、宮将軍ともいう。

幕府政治の推移(2)〈鎌倉幕府滅亡〉

天皇	執権	主な事項
1287 伏見	⑧ 時宗 1284	1281 弘安の役
		1285 霜月騒動
		〔安達泰盛一族、内管領平頼綱により滅ぼされる〕
1298 後伏見 後二条 花園	⑨ 貞時 1301	1297 永仁の徳政令
		1317 文保の和談
		〔~18. 大覚寺統・持明院統との間で、時の花園天皇の譲位と将来の皇位継承問題について協議〕
	⑩ 師時	1321 院政廃止、後醍醐天皇の親政
	⑪ 宗宣	記録所を再興
	⑫ 熙時	1324 正中の変①
	⑬ 基時	〔後醍醐天皇の討幕計画、失敗。日野資朝・俊基捕らえられる〕
	⑭ 高時 (金沢)	1325 日野資朝を佐渡に配流
	⑮ 貞顕	1331 元弘の変②③
		〔後醍醐天皇の再度の討幕計画、失敗。天皇は笠置山に逃れる。楠木正成、赤坂城で挙兵。笠置山の戦いで敗北し、後醍醐天皇捕らえられる(→P.98)〕
	(赤橋) ⑯ 守時	持明院統の光厳天皇即位
		1332 後醍醐天皇、隠岐に配流
		〔護良親王、吉野で挙兵。楠木正成、千早城で挙兵④〕
		1333 赤松則村の挙兵。後醍醐天皇、隠岐を脱出。伯耆の名和長年が船上山に迎える⑤。足利高氏・千種忠頭ら六波羅を攻略する⑥。新田義貞、鎌倉を攻略し北条高時自刃(鎌倉幕府滅亡)⑥。記録所復活。雑訴決断所・武者所・恩賞方など設置

〈合議制13人とその後〉

- 足立遠元
- 安達盛長 (1200年死去) 「霜月騒動」で安達一族抹殺される
- 大江広元 (吏僚)
- 梶原景時 (1200年糾弾状が出され、上洛を図るも追討に遭う)
- 中原親能 (吏僚)
- 二階堂行政 (吏僚)
- 八田知家
- 比企能員 (頼家の外戚。1203年謀殺、「比企能員の変」)
- 北条時政 (1215年死去)
- 北条義時
- 三浦義澄 (1200年死去) 「宝治合戦」で一族、北条氏に討たれる
- 三善康信 (吏僚)
- 和田義盛 (侍所初代別当。1213年「和田合戦」にて敗死)